

『故郷を離れて思うこと』

■ 佐々木 憲子さん (神奈川県横須賀市在住)



▷七月二日「ふるさと鶴田会」で旧友と撮影。二列目の右端が佐々木さん。

ふるさと鶴田町を離れて三十五年が過ぎました。結婚と同時に横須賀へ参りましたが、子育てに追われ息子、娘も結婚をし孫にも恵まれ、今思い返すとあつという間に月日が過ぎたように思います。

わたしの住んでおります所は百四十二段の階段を上った高台にある団地です。結婚したころは居間にいながらにして富士山を見ることができましたが、今では周りの山がほとんど削られ、至る所に家が建ち、会社の研修所、老人ホーム、マンションなども建ち並び風景が変わってしまいました。

ふるさとの田んぼの中に立って見る若木山、何も変わらぬ風景において、ふるさとを離れてはじめて知るふるさとの良さ、幾つになっても帰省のときは、青森に近づいて来ると胸がわくわくします。

耳にこごち良い津軽の言葉、空気が思わず「ウフフ、あーこれこれ」とニヤニヤしながらつぶやいてしまします。

両親は亡くなりましたが実家の兄夫婦がいつも快く迎えてくれますので、今でも何かと甘えており

感謝しております。なかなかふるさとへ帰ることができませんので中野サンプラザでの「ふるさと鶴田会」と年に数回届けてくださる「広報つるた」をとっても楽しみにしております。

遅ればせながら、七月二日の中野サンプラザ「ふるさと鶴田会」の関係者の方々大変お疲れ様でした。ありがとうございました。次回を楽しみにしております。そしてますますの鶴田町の発展をお祈り致します。

戸籍の窓

(人の動き)

7月31日現在 (前月比)	
人口 15,280人 (-3人)	
男 7,176人 (-4人)	
女 8,104人 (+1人)	
世帯 5,048 (-2)	
出生10人	転入27人
婚姻7組	転出26人
死亡14人	



青森県
●鶴田町

(この欄に載せたくない方は、届ける時に窓口係へ申し出てください)

編集 うらばなし
七月いっぱいまで国際交流員のメアリーさんとタミラさんが、任期を終えそれぞれ母国へ帰られました。彼女たちとは四月から一緒に仕事をし、やっと仲良くなれたと思ったのに別れとなってしまいました。寂しい気持ちです。しかし別れの後には出会いがあるもので、八月からは新しく、ジェニファーさん(イギリス)とアダムさん(フットリバー)が国際交流員として当町にいらっしゃいました。新しい土地での生活は心細かったり戸惑うことがいろいろあると思います。皆さん二人を町で見かけたら、気軽に声を掛けてお友達になってください。よろしくお願いします。 (江)